

↓二階に上がって、女性たちの織った織物を見る。ここでは織り貯めたものを商人を通して市場にも出荷されているようだ。この居宅の向かいには広い中庭を置いて右端下のような居宅があり、血縁者が集団となって生活している。それらの女性が織った布を持ちより披露する。話がはずむ。



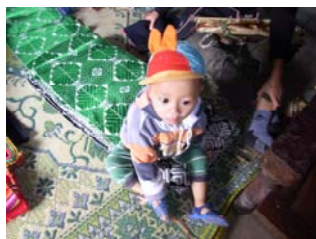
↓伝統的な「せおいこ」孫を背負い実演。



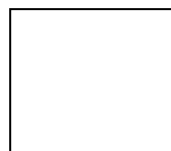
↓中庭には井戸。電動でポンプアップ



↓寝室まで案内して敷きには、例のマットレス。ススキの穂が詰め込まれている。その上に掛け布団。



←一族の女性の皆さんが子供たちとともに集まり、昼食です。ご飯を食べて行けとのこと。例のモチ米のご飯を左手で握り、肉を焼いたもの、野菜を御馳走になりました。この頃にはイネの収穫が終わった農閑期の主人も合流し、酒（自家製の焼酎）を飲みながら交流。



↑動画

集会所で自分たちがダンスを収録したビデオを見せてくれた。民族への誇りか？

↓親切にお礼を申し上げ、記念写真を撮りましょうと言うと、チョット待ってくれとのこと。民族の正装に着替えるからとのこと。その写真がこれです。若い女性は着替えていない。男性は90歳を超えるこの家の主(対応してくれた中央で孫を抱く女性の父親)。2階に1室を設けて暮らしている。時折、我々に興味を持ち、姿をみせました。インドシナ戦争の体験者である筈だが・・・この一家に幸多からんことを祈りながら、さよならを告げ、右写真のような集落道を抜けて本通りへ・・・



←まちなかに戻り、少し休憩。都会のカフェ風の店でベトナムコーヒーで休憩。雨はすっかりあがり、コーヒーが美味しい。こうした店の価格は結構高い。200円

ムオンタイ橋と小さな庶民のマーケット（ニョ市場）を見る

ムオンタイ橋はナムソン川にフランス軍が架橋した軍用橋。仮設の鉄骨橋に木材を張ったもの。ド・キャストリの司令部と丘の陣（塹壕）戦場をつなぐ橋と思われる。今日、当時の状態のまま利用されている。日常の市民生活に無くてはならない橋と思われる。その東詰に開設されているのがニョ市場。主に生鮮食料品の少量を各個人が持ち込み露天やテント張りで出店している、庶民の市場。橋は現在、少し離れてコンクリート橋に架け替え工事中である。



↑コンクリート橋脚。鉄骨、その上に木板。バイクはガタガタと音を立てて走る。遠くに架け替え工事中。



↑渡り切ると、向こうに青いテントの市場が見える



←手前がド・キャストリの司令部に続く。破壊された兵器が展示。レリーフの記念碑。例によってベトナム語のみ。聞くとところによると「1954年5月7日14:00第312旅団360中隊がムオンタイ橋を攻撃し司令部を撃破した」と書かれているとのこと。5月7日通りは橋の向こう側。



↑ 老朽化。足の下には水面が。



↑ 遠くに見える橋脚は架け替え工事



↑ 長い歴史の流れに身をまかせ、ただずんでウォッチングしていると一日中、居ても飽きない。  
ベトナム帽の農婦、吊いか川にバナナの木を投げ入れる者、物売りの農婦、水牛を飼う若者。山羊。音を立てて駆け抜ける大きな荷を積んだバイク。  
ナムソン川の河川敷は水牛、山羊の放牧場。生活が垣間見える。橋は特別な場所だ。



↑ 動画  
橋を渡ります

ニョ市場



↑周辺の村々からあらゆるものが持ち込まれます。農家の女性が持てる量だけ、バイクで持ち込みます。市場建物はありません。路上やテントを張って出店します。果物、淡水の魚介類、小家畜の屠体などわれわれには馴染みのない物が多く見ていて飽きない。出店者同士の情報交換やおしゃべりを楽しむ場にもなっているようで面白そうにヤリトリする様子を見るのも楽しいものです。←旅客機が上空をかすめて着陸態勢に入ります。このまちに空港があります。旧日本軍の設営による空港がそのまま使われているのかな・・・ベトナムの人々には平和がよく似合う。

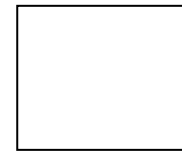
←動画



1963年のムオンタイン橋。  
1954年のデイエンピエンフーの歴史的勝利後、アメリカの北爆が始まろうと言う時代である。勝利の戦闘を回顧するように、橋上で凶面を広げている。橋周辺司令部跡周辺の農村風景が映示される。破壊された兵器はそのままの状態である。戦車砲塔に乗り回転させて喜びを表現している。タイ族の若い女性が民族服正装で歌いながら歩いてくる。ウォー・グエン・ザップ将軍が懐かしむように話しているインタビューに出てくる。若い。

第二の村

ド・キャストリ司令部跡を左に見て、大木の並木道をバイクで10分。平坦で広がりのある水田地帯のど真ん中を走ります。画像のようなかなり大きな村に到着。ベトナムタイ族の村。高床式の大きな居宅が並びます。巨木の緑に覆われた家々が好ましい集落景観を醸し出します。豊かな暮らしと見受けられます。ここでも、勤労者所帯との混在が一部に見られます。



↑動画

ムオンタイン橋を渡り、村までバイクを進める。ド・キャストリ司令部跡を過ぎると、平坦な農地が広がり、集落の中を突切って村に着きます。道中をお楽しみください。

一軒の大きな居宅を訪れました。女性が織物にたずさわる農家です。

